



平成28年9月15日

各 位

会社名 株式会社 エ デ ィ ア
代表者名 代表取締役社長 CEO 原尾 正紀
(コード番号：3935 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 CFO 賀島 義成
(TEL. 03-5210-5801)

特別損失の計上および平成29年2月期第2四半期（累計）
業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成29年2月期第2四半期において、下記のとおり特別損失を計上いたしましたので、お知らせいたします。あわせて、平成28年4月15日に公表いたしました平成29年2月期第2四半期（累計）業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社ゲームサービス事業において、売上寄与を見込んでいた新規アライアンスタイトルが、想定していた売上高に届かずに推移し、当初計画していた売上が未達となる見込みとなりました。そのような状況下、当該ゲームタイトルの収益性が低下したことから、63百万円の減損損失を計上いたしました。

2. 業績予想の修正について

(1) 平成29年2月期第2四半期（累計）業績予想数値の修正（平成28年3月1日～平成28年8月31日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	821	142	129	112	71円14銭
今回修正予想（B）	738	18	5	△60	△37円45銭
増減額（B－A）	△82	△123	△124	△172	—
増減率（%）	△10.1	△87.0	△96.0	—	—
（ご参考）前期実績 （平成28年2月期第2四半期）	—	—	—	—	—

(注) 平成28年2月期第2四半期におきましては、四半期財務諸表を作成していないため、平成28年2月期第2四半期実績については記載しておりません。

(2) 修正の理由

上述のとおり、売上寄与を見込んでいたゲームタイトルが、想定していた売上高に届かず、当初計画していた売上が大幅に未達となる見込みとなり、収益性が低下したことから減損損失を計上いたしました。

また、現在開発中の新規アライアンスタイトルにおいて、当初は当第2四半期でのリリースを予定しておりましたが、楽天株式会社の運営するゲームプラットフォームである楽天アプリ市場の終了により、提供プラットフォームの変更に伴う追加開発や、ユーザー満足度の向上を目指した開発の延長によりリリースが遅れ、開発費が増加し、収益に貢献することができませんでした。

以上の結果、平成29年2月期第2四半期（累計）の業績予想について、売上高・営業利益・経常利益・四半期純利益をそれぞれ修正いたします。なお、通期見通しにつきましては、現在精査中であり、開示が可能となった時点で公表させていただきますが、第2四半期累計期間よりも利益面では改善する事が見込まれております。

3. 今後の取り組みについて

今後、当社の拡大する事業環境に対応すべく人員増強を加速しゲームサービス事業の開発体制を早急に強化してまいります。また、プロジェクト型組織運営を行う中で、ノウハウやナレッジの共有が進まなかった点や、非効率な運営を行っていた点を、機能別組織にシフトを行う事で、より効率的かつ付加価値の高いサービスの開発・運営が行える体制を構築いたします。

(注) 本資料に記載されている業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上